

TOTO

東陶機器株式会社

f SERIES

“自動みずとめ”

住宅用埋込型定量止水付
サーモスタット混合栓

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



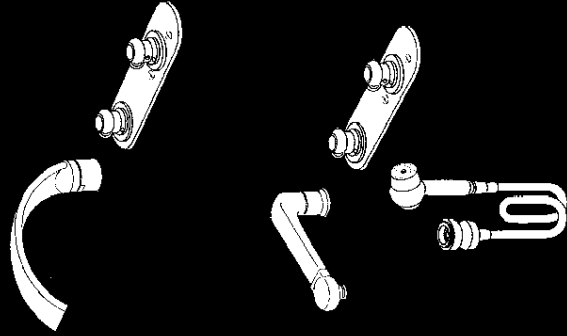
0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

TOTO

ご愛用のしおり

■このたびは、TOTO **f** SERIES 埋込型定量止水付サーモスタット混合栓をお求めいただきました。まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みください。正しくお使いください。

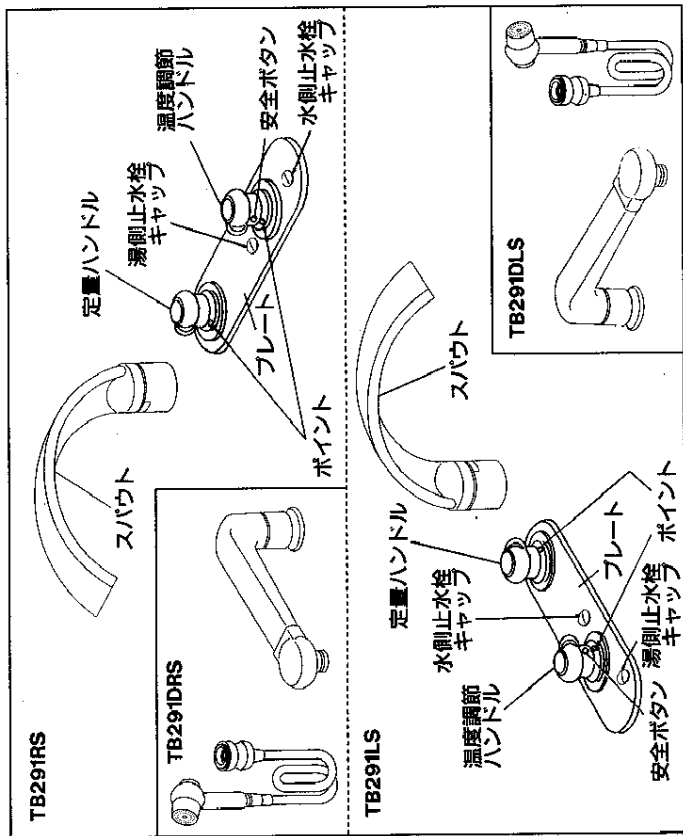


もくじ

特長・各部のなまえ	1
各ハンドルの役目	2
つかいかた	3～4
使用上の注意	4～6
最大設定量の調節のしかた	7～8
温度調節のしかた	9
手入れのしかた	10
ストレーナーの掃除	10～12
故障したときは	12～14

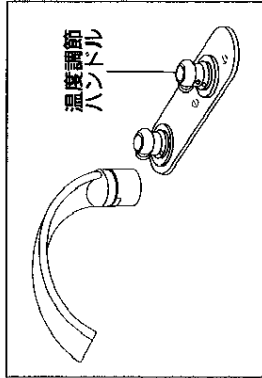
特長・各部のなまえ

1. 希望湯量を設定すれば浴槽に湯を貯める間、何度も湯量を気にする必要がなく、湯をあふれさせる心配もありませんので節水省エネに役立ちます。
2. サーモスタット付ですので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても吐水温度をほぼ一定に自動調節します。
3. 温度調節ハンドルの操作ひとつで、お望みの温度に変えられます。
4. 湯量の制御は時間ではなく、実際に流れる湯の量で制御する機構のため、水圧の変動で湯量が変わることがほとんどありません。
5. 浴槽の大きさに合わせて必要とする湯量以上吐水しないよう、最大設定量の調節ができます。
6. 掃除用シャワー付の場合は、浴槽・ふろがまの循環パイプ・床・壁などの掃除にご利用いただけます。



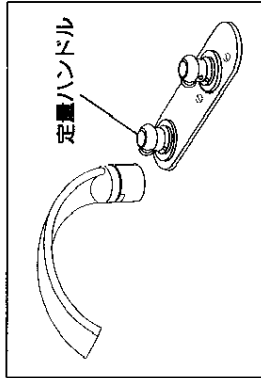
各ハンドルの役目

1. 温度調節ハンドル



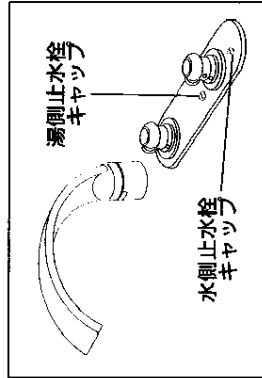
吐水温度を変えるときに使用します。サーモスタット付ですので、調節後は吐水温度がほぼ一定になるように自動調整されます。なお、このハンドルで、湯水を止めることはできません。

2. 定量ハンドル



浴槽に湯を貯める際、自動止水させるときに使用します。希望湯量の目盛に設定すれば、その量だけ吐水した後自動止水します。

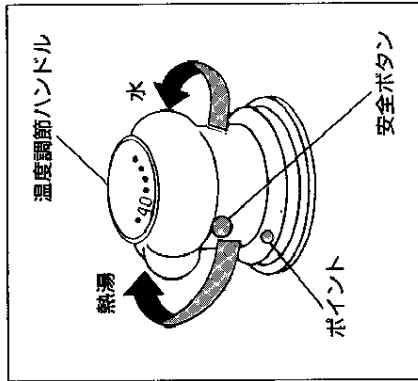
3. 湯側・水側止水キヤップ



定量機能が故障し、湯水が止まらないなど緊急を要する時、湯側・水側止水栓キヤップをはずすとドライバーで簡単に止水栓操作ができます。

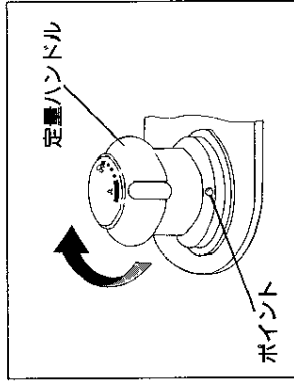
つかいかた

温度調節



温度調節ハンドルを回してお望みの目盛をポイントに合わせるとお望みの温度に調節できます。
 ハンドルの数字は湯温を示す目安としてください。
 温度調節ハンドルには誤って熱湯を出さないようにハンドル目盛"40"付近でロックされます。
 高温で吐水したい時は、安全ボタンを押しながら回してください。
 なお、安全ボタンを押し使用した時はハンドルを必ず目盛"40"以下に戻しておいてください。

吐水・止水



定量ハンドルを矢印方向に回し希望の目盛をポイントに合わせると設定された湯量が自動的に貯められます。
 途中で止めたい時は、定量ハンドルを矢印と反対方向へ回し「止」位置に戻すと止まります。

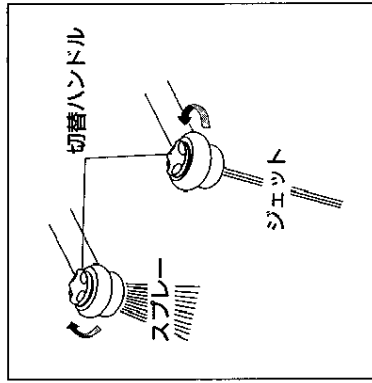
目盛の目安

浴槽の大きさ	設定目盛
小	150
中	180
大	210

ハンドルの数字がおよその湯量です。(例：150≒150L)
 設定位置の目安は左表のとおりですが、一度湯をためてみてお取り付けの浴槽に合った湯量を確認してください。

掃除シャワーの切替 (TB291DLS・TB291DRS)

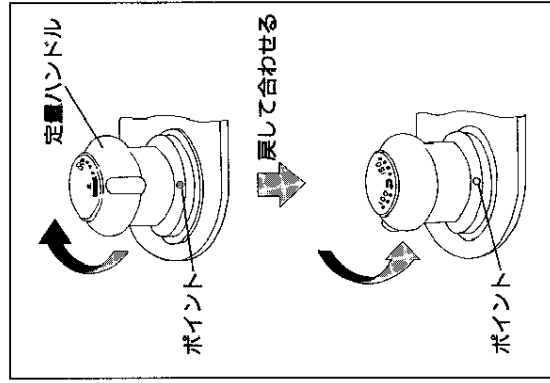
切替ハンドルを右に回すとスプレーに、左に回すと、ジェットに切替わります。



使用上の注意

1. 120L以下の湯貯め

湯・水を120以下に設定する時は、定量ハンドルを一旦印以上に回してから希望する目盛に戻してください。
 (直接120以下の設定に合わせると自動止水しないことがあります。)

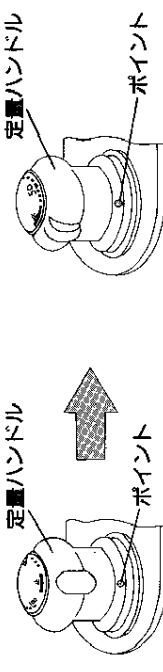
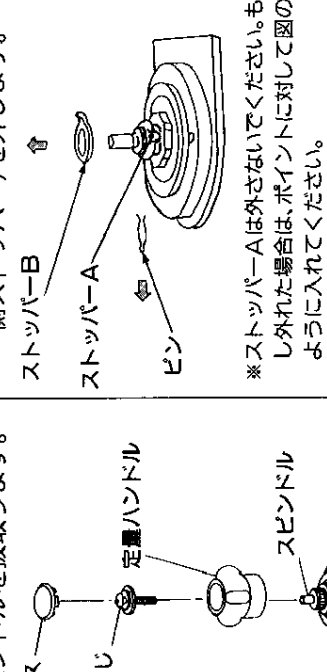
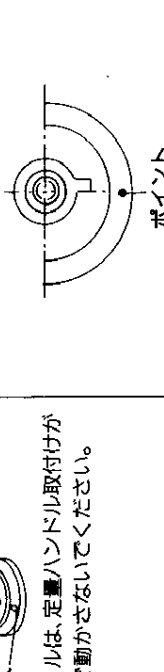


最大設定量の調節のしかた

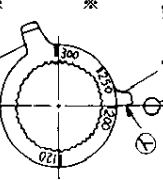
定量ハンドル目盛300（約300L）まで設定できます。

浴槽の適量以上、定量ハンドルが回せないように最大設定量を調節するこ
とができます。なお、工場出荷時は目盛を250に設定しています。

定量ハンドルの目盛は、およそ湯量(L)を示しますので、調整する前に実際
に浴槽に湯又は水を貯めて適量を確認し、次の要領で調節してください。

<p>1. 定量ハンドル目盛がポイント位置で「止」になっていることを確認し 定量ハンドル目盛を「50」～「止」の中間をポイント位置に合わせます。</p>  <p>定量ハンドル ポイント</p>	<p>「止」位置に合わせます。</p> <p>2. インテックス、小ねじを外して 定量ハンドルを抜取ります。</p>  <p>インテックス 小ねじ 定量ハンドル ポイント</p> <p>3. ピンを抜取り、ストップバーB(上 側ストップバー)を外します。</p>  <p>ストップバーB ストップバーA ピン ポイント</p> <p>※ストップバーAは外さないでください。ち し外れた場合は、ポイントに対して図の ように入れてください。</p>
---	---

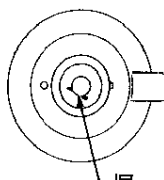
4. ストップバーBを適量にセットし
ピンで固定します。
ストップバーBの数字はおよその
湯量(L)を示し、数字は50単位
になっていますが、10単位の設
定が可能です。
(200Lにセットした場合)
ストップバーB



① ストップバーA
ポイント

※必ずストップバーAの端
面とストップバーBの
数字を合わせてくださ
い。
※ストップバーBを120以
下にセットすると自動
止水しなくなります。

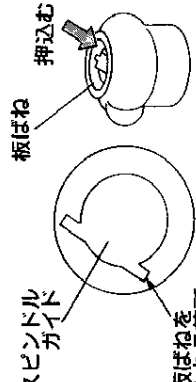
5. 定量ハンドルを取付けます。
スピンドルのカット面と定量ハ
ンドルの板は位置を合わせて
はめ込みます。



スピンドルカット面
ハンドル板はめ

※定量ハンドルをはめ込む時、板はめ
か外れた場合スピンドルのカット面
の向きに合わせて、板はめを元ど
うりにドライバーなどで押込んでくだ
さい。

6. 小ねじで定量ハンドルを固定し、
インテックスを取付けます。

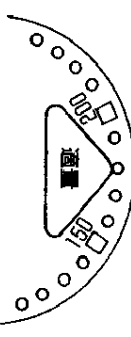


スピンドル
ガイド
板はめ
押込む

インテックス突起
ハンドルの溝

※インテックスの突起と
定量ハンドルの溝を合
わせる。

7. 適量ラベルを貼りつけます。
このページ下段に添付している
適量ラベルを設定量の目盛の上
に下図のように貼りつけてくだ
さい。貼る時は、表面の汚れや水
分をよくふきとってください。
適量ラベルを貼っておくと使
用になるとき、設定が容易にで
きます。




適量ラベル

最大設定量の調節をしない場合でも、浴槽に湯をた
めるとき合わせる目盛の上に適量ラベルを貼ってお
くと便利です。

温度調節のしかた

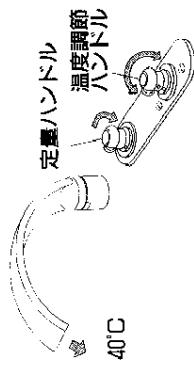
目盛り通りの温度が出ない場合は、次の要領で温度調節をしてください。
まず、調節する前に、次の点を確認してください。

(a)ストレーナのこみつきまわりはないか。(P11、12参照)

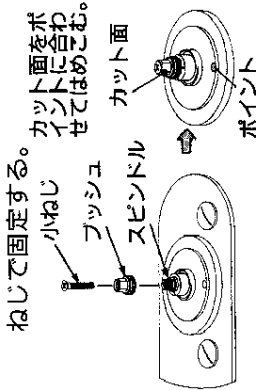
(b)止水栓が全開しているか。(P11参照)

(c)十分な温度(使用する温度より10℃以上)の湯がきているか。
温度が低い場合は、給湯機の温度設定を上げてください。

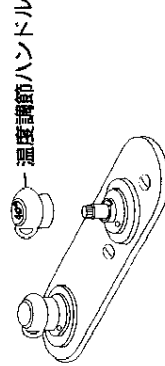
1. 定量ハンドルを開き、温度調節ハンドルの目盛に「関係なく40℃」の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。



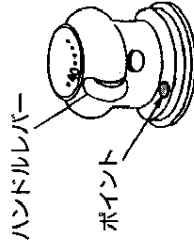
3. 小ねじ、プッシュをスピンドルが回らないように注意して外し、プッシュのカット面を、ポイントに合わせてはめこみ、小ねじで固定する。



2. 温度調節ハンドルが回らないよう注意して温度調節ハンドルを抜取る。

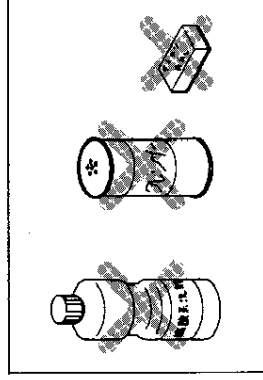


4. 温度調節ハンドルのレバー位置と本体のポイントを合わせ、ハンドルを確実にはめ込む。



手入れのしかた

いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところはときどきミネシヨン油やカーワックスなどをしこませた布でみがいてください。ただし、樹脂部(ハンドル)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



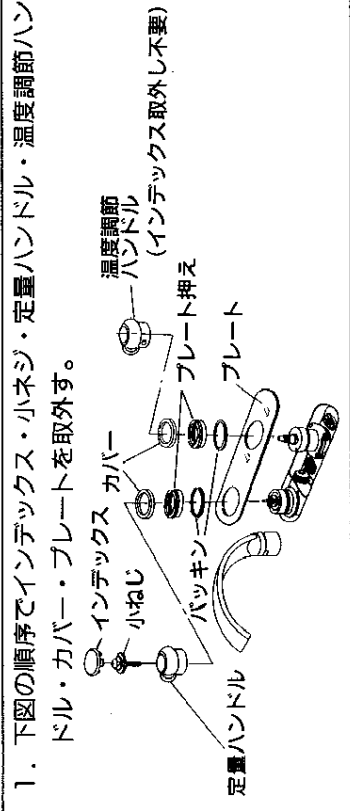
クレンザー・みがき粉などや粗い粉子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。

また、酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。
まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

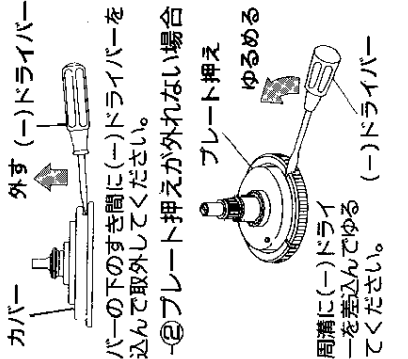
※カラー塗装品及びパールブライトめっき品は付属の取付説明書をご覧ください。

ストレーナの掃除

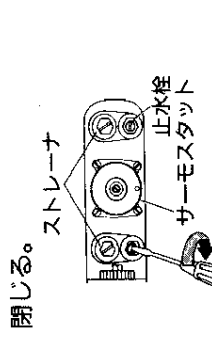
ストレーナがつまると流量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき次の要領でストレーナを掃除してください。



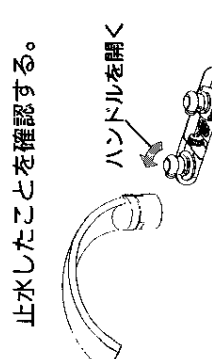
1-①カバーが外れない場合
 カバー 外す (-)ドライバ
 カバーの下のすき間に(-)ドライバを
 差込んで取外してください。
 ②プレート押えが外れない場合
 プレート押え ゆるめる (-)ドライバ
 外周溝に(-)ドライバを差込んでゆる
 めてください。



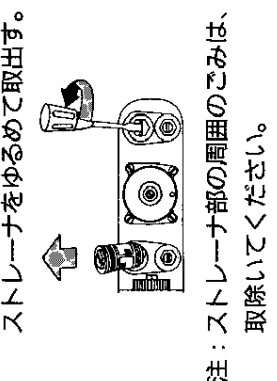
2. 手前の止水栓(湯側・水側)を
 閉じる。
 ストレーナ
 止水栓
 サーモスタット



3. 定量ハンドルを開き、止水栓で
 止水したことを確認する。
 ハンドルを開く



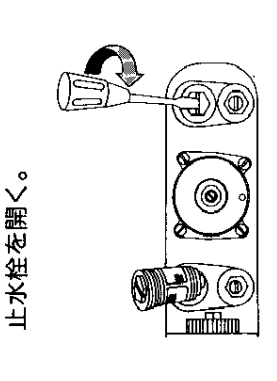
4. (-)ドライバを溝に差込み
 ストレーナをゆるめて取出す。
 注: ストレーナ部の周囲のごみは、
 取除いてください。



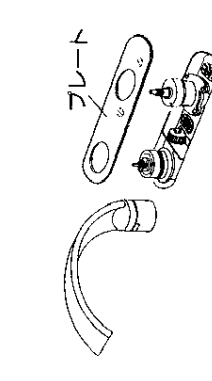
5. ストレーナを取出し、ストレ
 ナの網目につままったごみをプ
 ラシなどで取除く。



6. ストレーナを元どおりに戻し、
 止水栓を開く。



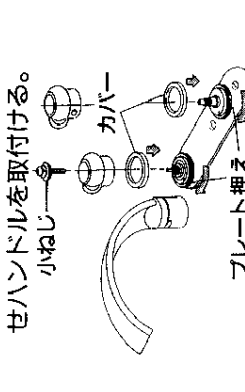
7. プレートをかぶせる。
 プレート



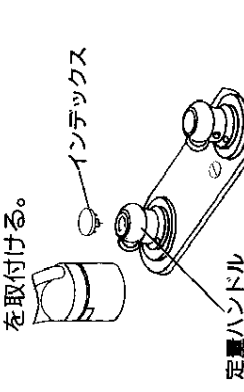
8. プレート押えにパッキンを入
 れて、ねじ込む。
 パッキン プレート押え



9. プレート押えにカバーをかぶ
 せハンドルを取付ける。
 小ねじ カバー
 プレート押え



10. 定量ハンドルにインテックス
 を取付ける。
 インテックス
 定量ハンドル

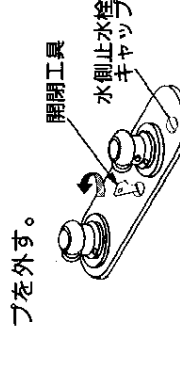


注: 器具内の残水が流れ出てきた場合には、雑巾でふき取ってください。

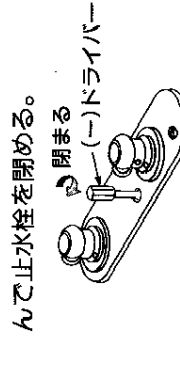
故障したときは

定量機能が故障し、湯水が止まらないなど、緊急を要するときは、下図の要領
 で止水栓を開めてください。

1. 付属の開閉工具で止水栓キャ
 ップを外す。
 開閉工具
 水側止水栓
 キャップ



2. 奥まで(-)ドライバを差込
 んで止水栓を開める。
 閉まる (-)ドライバ



自動バルブの掃除のしかた

● 点検内容

止水栓は開いているか	ストレーナーのごみつき りはないか	混合栓に湯がきている か	温度調節はよい か	シート部にゴミをかん ていないか	バルブの小穴がつか つまっているか	設定ハンドル目盛が「止」 の位置にあるか	設定ハンドルの動きを 妨げていないか	湯量の設定をまちが わなかったか
------------	----------------------	-----------------	--------------	---------------------	----------------------	-------------------------	-----------------------	---------------------

故障の修理はお取付工事店にご依頼ください。なお不明の点がございましたら当社のお客様相談室へご相談ください。

● 修理を依頼される前に簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に次の点検をしてください。

● 故障内容

吐水流量が少ない	高温又は低温がでない	目盛と湯の温度がちがう	湯水が止まらない	湯量が大きく狂う
----------	------------	-------------	----------	----------

1	バルブカバー 止水栓	プレートカバー を取外した後、 水側・湯側の止 水栓を閉め、湯 水を止める。 (P を参照)	5	シートパッキン にごみかみか ないか調べる。
2			6	小穴 小穴がつか つまっている いたら細い針 金(荷札の針 金など)で掃 除する。
3	バルブカバー	設定ハンドルを 矢印方向へ止 まるまで回す。	7	バルブカバー バルブ部を元 どおりにおさ め、バルブカ バーを閉め る。
4	バルブ	バルブカバーを 開ける。	8	水側・湯側の止 水栓を開き、 プレートカバ ーを取付ける。 (P12を参照)